

学校事務労働と「働き方改革」に関する実践報告の共有について (2025 年石狩市学校間連携会議冬季研修会に向けたとりくみ)

学校における学校事務労働の確立や働き方改革の取り組みは、各校で多様に進められています。石狩市学校間連携会議においても 2023 年度夏季研修会から参加者が各自の実践をもちより、交流・共有し、互いに学び合うことで、より効果的な学校事務労働を追求してきたところです。

今回、2025 年度冬季研修会において、過去の実践報告と新たな報告を一体的に共有・活用する仕組みとして、CrewWorks というオンラインツールの導入を提案するとともにさらなる「働き方改革」を意識した学校事務労働の追求を行いたいと思います。

【提案内容】

① 過去の実践報告の一括アップロード（事務局対応）

- これまでに提出された実践報告を事務局で整理し、CrewWorks に一括アップロードする。
- テーマ別で分類し、閲覧しやすい構成にする

② 新たな実践報告の提出（参加者対応）

- 市内事務職員及び既参加者、2025 年冬季研修会参加希望者を CrewWorks のプロジェクトに招待し、各自の実践報告を投稿する。
※すでに複数回の参加がある方からは実践報告を強く求めない。
- 報告には「所属・氏名・テーマ・概要」を記載し、資料を添付する。

③ コメント機能による事前交流

- 他の報告に対して、質問・感想・気づきをコメント欄で投稿する。
※今回、実践報告を提出されていない人は過去の実践報告に対し「質問・感想・気づき」のコメントを残す。
- 事前に意見交換を行うことで、研修当日の議論を深める

④ タスク管理による準備の見える化 ※検討事項

- 実践報告提出、コメント投稿、発表準備などをタスクとして設定
- 担当者・期限・進捗状況を明確にし、準備の効率化を図る

⑤ フィードバックの収集と活用

- コメントをもとに、研修当日のディスカッションテーマを整理

- 研修後も振り返りや改善案を CrewWorks 上で共有し、継続的な学びにつなげる
-

【期待される効果】

- 過去の報告と新たな報告を一体的に活用できる
 - 事前の交流により、研修当日の議論が深まる
 - 業務改善のヒントを得る機会が増える
 - デジタルツール活用による業務の効率化が促進される
-

【今後の進め方（案）】

1. 事務局による過去報告の整理・アップロード
2. 参加者のメールアドレス収集と CrewWorks 招待
3. 新たな報告の提出とコメント投稿の促進
4. 研修当日のディスカッションと振り返りの実施